

紙リサイクルの未来、共に考えませんか？

～紙リサイクルの未来を創る：「動脈」と「静脈」の共創を目指して～

日時 2026年5月26日(火) 14:30～16:30 ※受付14:00

会場 AP市ヶ谷 東京都千代田区五番町 1-10 市ヶ谷大郷ビル 会議室B(7階)

参加費 無料 (公社)日本包装技術協会 法人・個人会員の方 / (公財)古紙再生促進センター 関係者の方 / 一般の方

対面開催

事業区

包装の調達・設計・表示・品質管理・マーケティングの最前線に立つ皆様に対し、紙リサイクルの現場や制度運用の実情、雑がみ発生の背景にある設計・表示・運用上の論点、海外動向や実務上の工夫など、SDGsへの対応や資源循環の実装を検討される上で参考となる情報を提供させて頂くことを通じ、紙の資源循環について理解深めて頂くことを目的に本催しを開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

【第1部】 14:30～15:10 (40分)

【テーマ】 紙リサイクルの現場から考える循環社会・「雑がみ問題と資源循環」

紙リサイクルは、市民の分別意識と関係者の取組に支えられ、日本では世界的にも高い資源循環システムを築いてきました。しかし近年、デジタル化による紙需要の変化や、家庭ごみに混入する「雑がみ」の存在など、資源循環を取り巻く前提は大きく変化しています。こうした課題は回収・再生の現場だけでなく、包装設計や表示、製品企画など動脈側の判断とも関係しています。

本講演では、古紙需給の変化や家庭ごみ組成調査を踏まえ、「雑がみ掘り起こし」の視点から紙リサイクルの実態と論点を整理します。そのうえで、回収と設計をつなぐ資源循環のあり方を共有し、持続可能な社会に向けた共通の視点を考えます。

【講師】 公益財団法人 古紙再生促進センター 専務理事

川上 正智 氏

【第2部】 15:20～16:00 (40分)

【テーマ】 サークュラーエコノミー時代の包装設計・「脱プラ・紙化」のその先へ

環境対応は差別化要素から、市場参入のための「必須条件(ライセンス)」へと変化しました。一方で、設計側(動脈)が求める機能性と、再資源化現場(静脈)の論理の間には依然として大きな溝が存在します。

本講演では、欧州 4evergreen が掲げる「繊維回収率 85%」という指標や、PPWR の性能等級規制といった世界基準の「ものさし」を整理します。さらに、国内の「紙マーク」付与基準が抱えるジレンマやバリア機能とパルプ化のトレードオフについて、最新の海外事例を交えながら実装目線の解決策を探ります。

「混ぜればゴミ、分ければ資源」から「分けられるように作る」責任へ。動脈と静脈の対話を通じて、2050年の社会に向けたパッケージの全体最適を共に考えます。

【講師】 株式会社バックエール 代表取締役社長 / 包装技術コンサルタント

内村 元一 氏

【第3部】 16:10～16:30 (20分)

【質疑・応答】 各講師に対する質問

参加申し込み方法

お申し込みは、JPI ホームページよりお願い致します

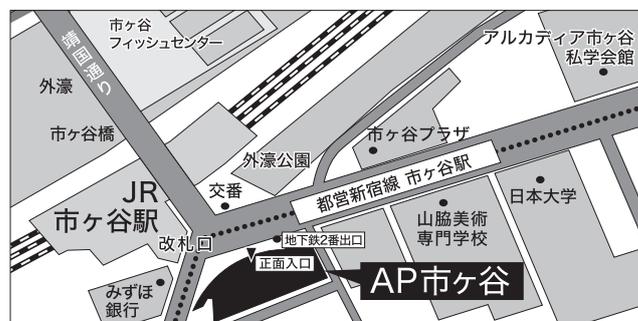
URL : <https://www.jpi.or.jp/>

申込要領

- ◆お申し込みは日本包装技術協会ホームページより、先着(100名)とさせていただきます。定員になり次第締め切ります。
- ◆申込者には改めて事務局よりご案内メールを送付させていただきます。申込者1名のみ本催しに参加できます。
- ◆お申し込みが定員に達した場合、一社における参加人数を制限させて頂く場合があります。

会場

◆AP市ヶ谷 会議室B (東京都千代田区五番町 1-10 市ヶ谷大郷ビル)



個人情報の取扱いについて

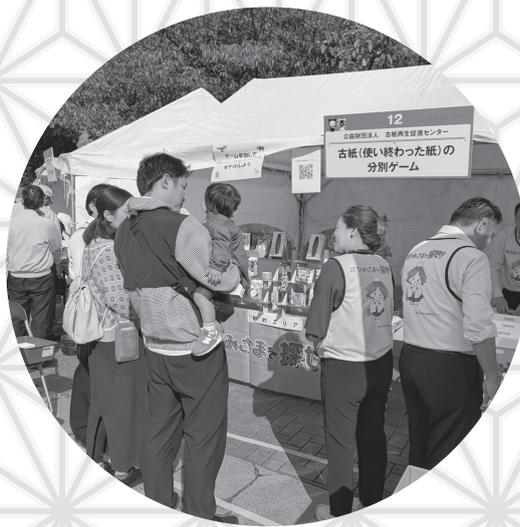
- 1) 個人情報は日本包装技術協会及び古紙再生促進センター共催の本セミナーの事業実施に関する資料等の作成ならびに主催者が実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

お問い合わせ先

- ◆公益社団法人日本包装技術協会 担当:小橋
- ◆〒104-0045
- 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10階
- ◆TEL:03-3543-1189 ◆mail:kobashi@jpi.or.jp

雑がみさまを探せ！

「雑がみ」分別できていますか？



雑がみ回収促進に向けた啓発を通じて、一人ひとりの行動変容を促し、さらなる紙資源の循環を広げることで、持続可能な循環型社会の実現に貢献していきます。



公益財団法人
古紙再生促進センター



TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2026

TOKYO PACK 2026

OCT.14~16, 2026 TOKYO BIG-SIGHT

包みの技術で 世界に優しさを
Innovative Packaging Technology
~ The link between our future planet and generations ~

包装の最新情報が一堂に集まる国際包装展

 2026東京国際包装展

2026年10/14水▶16金

東京ビッグサイト 東1-3, 7, 8ホール

開場時間▶10:00▶17:00 主催 公益社団法人日本包装技術協会
JAPAN PACKAGING INSTITUTE
<https://www.tokyo-pack.jp>

ただいま来場事前登録受付中！



本展ホームページ
2次元コード